

外国語学部ポルトガル語専攻4年生（今年度末に卒業を予定している学生）対象 重要注意事項

目次

1. メールアドレス・電話番号の連絡・更新について
2. 中間発表会の実施について
3. 卒業論文関連の事務手続きについて
4. 卒業論文の形式について
5. 口頭試問について
6. その他の注意事項（休学等の届出など）

1. メールアドレス・電話番号の連絡・更新について

卒論関連及びその他の連絡は、通常、koan 掲示板、または電子メールによって行うが、緊急を要する場合、電話を使用することもある。よって、メールアドレスと電話番号を指導教員とアカデミックアドバイザーに連絡しておくこと。また、変更があった場合、すみやかに連絡すること。

* アカデミックアドバイザーは卒論指導教員が兼ねるが、卒論指導教員がデゼン先生の学生にあっては、鳥居先生がアカデミックアドバイザーである。

2. 中間発表会の実施について

- ・ 夏休み前（7月末から8月初旬頃の予定）に「中間発表会」を実施するので、指導教員から必要な指導を受けながら、発表の準備を進めておくこと。
- ・ 2019年12月に実施した「卒業論文構想発表会」で発表を行った学生については「中間発表会」での発表は免除される。

3. 卒業論文関連の事務手続きについて

- ・ 受講登録など、卒業論文に関わる事務的な手続きは、学生各自、確実に行うこと。
- ・ 例年10月末が教務係への提出期限となっている卒業論文受講届（通称、題目届）は、指導教員の署名・捺印が必要となっている。この指導教員の署名・捺印は、必ず、10月半ばまでにもらっておくこと。

4. 卒業論文の形式について

【日本語で執筆する場合】

- ・ 字数は20000字以上。この字数には、参考文献は含まない。A4用紙1ページにつき30行、

1 行につき 40 字を基準とする。

- ・ 外国語文献の引用については、日本語訳をつける。
- ・ ポルトガル語の要旨を付する。この要旨の形式については、別途メール添付で夏期休業前までに送付し知らせるので、必ず指示に従うこと。

【ポルトガル語で執筆する場合】

- ・ 様式は、指導教員から指示される。
- ・ 日本語の要旨を付する。この要旨には参考文献を含まず、2000 字以上で執筆すること。(A4 用紙 1 ページにつき 30 行、1 行につき 40 字を基準とする)

* 上記卒業論文の形式について、指導教員・アカデミックアドバイザーから別途指示がある場合は、必ずその指示に従うこと。

5. 口頭試問について

- ・ 卒業論文の口頭試問は、翌年 1 月末頃から 2 月中旬の試験期間・補講期間に実施予定。日時、場所等、詳細については、メールによって通知される。
- ・ 口頭試問は論文本文に関する試問と、要約に関する試問の 2 部に分けて行われ、それぞれ執筆言語で質疑応答が交わされる。
- ・ 試問終了後も、指導教員・アカデミックアドバイザーから呼び出しを受ける可能性がある。については、試験期間・補講期間を含む授業期間中は、帰省、旅行等の予定を入れないこと。

6. その他の注意事項

事務室へ提出する休学等の届出において、書類に専攻語代表（学科目代表）教員、指導教員の署名・押印が必要な場合は、本人、保護者の署名、押印を含むすべての項目を先に用紙に記入した上で、原則として提出期限の 15 日以上前までに専攻語代表教員、指導教員に署名、押印を依頼すること。